

科目	ゼミナールⅢ(M)	担当	天野 圭二	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

国際関係の中でもトランスナショナルな現象を主に扱う。中でも最も容易に国境を越えて流通するものとして、映像や音楽やテキストを題材に作品の文化的背景を研究する。ゼミナールⅢはゼミナールⅡでの研究成果をもとに、卒業論文を執筆し、経過報告を行う。本ゼミでの到達目標は以下の通りである。

- 1) 自らの興味に基づいて課題を設定し、研究成果を出すために必要な能力が身につく
- 2) 経営学部で学ぶ各専門科目が共用する基礎的専門知識を系統的、総合的に理解できる
- 3) 問題解決能力やアイデアや意見を論理的に創り上げる能力が身につく

【履修注意】

- 1: 議論への参加は必須。「座っているだけ」の参加は厳禁。また、ゼミへの参加は義務であるため、欠席厳禁。
- 2: 中部地域、日本、世界で何が起きているのか、常にアンテナを張って観察しておくこと。

【評価方法】

プレゼンテーション(40点)、期末レポート(40点)、ゼミへの参加の積極性(20点)とする。レポートの構成は、卒業論文のタイトル(題目)、目次(構造図)、序章(概要)とする。未提出の場合、評価はDとし、再履修とする。

公欠届、就職活動届、診断書無き遅刻・欠席は認めない。無断欠席の場合、評価をDとする。

【試験について】

定期試験は実施しない。

【予習・復習】

自ら取り上げたテーマを熟知するまで検討(毎週最低90分以上)

【教科書】

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ゼミナール3の進め方、提出までのスケジュール確認
2	プレゼンテーション	執筆状況確認のためのプレゼンテーション、個別指導ピアレビュー
3	プレゼンテーション	執筆状況確認のためのプレゼンテーション、個別指導ピアレビュー
4	卒論指導	個別指導:研究の社会的価値・意義
5	卒論指導	個別指導:研究の社会的価値・意義
6	卒論指導	個別指導:研究方法の妥当性再確認
7	卒論指導	個別指導:研究方法の妥当性再確認
8	プレゼンテーション	執筆状況確認のためのプレゼンテーション、個別指導ピアレビュー
9	プレゼンテーション	執筆状況確認のためのプレゼンテーション、個別指導ピアレビュー
10	卒論指導	個別指導:経営学・国際関係に対する体系的理解
11	卒論指導	個別指導:経営学・国際関係に対する体系的理解
12	卒論指導	個別指導:異文化への視覚
13	卒論指導	個別指導:異文化への視覚
14	卒論指導	個別指導:社会への貢献
15	卒論指導	個別指導:社会への貢献
16	総括	完成稿へのロードマップ、スケジュールについて